

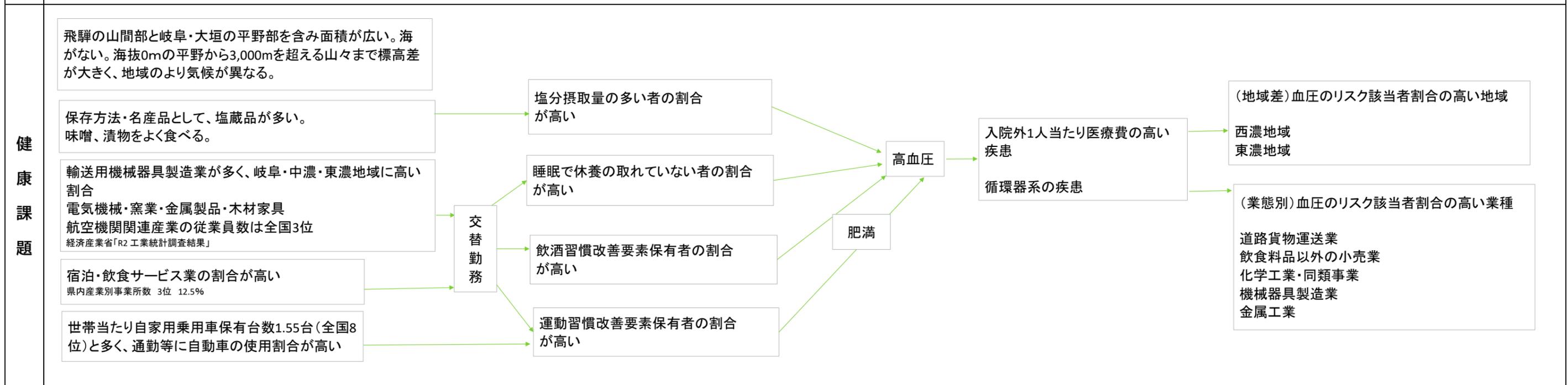
6年後に達成する目標  
 (健康課題を踏まえた検査値の改善等の目標) **被保険者・被扶養者の血圧リスク該当者割合<sup>(※)</sup> 2%減 [R4年度 47.6% → R11年度 45.6%]**

(※) 血圧リスク該当者：血圧収縮期血圧検査値 $\geq$ 130、または拡張期血圧検査値 $\geq$ 85、または問診票にて服薬済みに該当する者

健康課題の抽出

● 情報系システムの定型レポート、Zスコア、支部別スコアリングレポート等の医療・健診データから支部の特徴や健康課題を確認し、戦略的保険者機能強化アクションプラン、事業計画、特定健康診査等実施計画のほか、都道府県健康増進計画や都道府県医療費適正化計画等との調和を図りつつ、対策を進めるべき健康課題を抽出する。

	背景、不適切な生活習慣	生活習慣病予備群	生活習慣病	重症化、要介護状態、死亡
現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 風土・気候：山地が多く、海がない、盆地のため寒暖差が大きい</li> <li>■ 主な産業：第2次産業の割合が高い。製造業、医療・福祉、建設業（製造業品目全国1位の主なもの：陶磁器食器・包丁等・給排水用バルブ・木材家具）</li> <li>■ 世帯の状況：1世帯当たり人員は2.49人と全国平均2.21人より多い 共働き率30.9%（全国8位）</li> <li>■ 加入事業所数：39,468事業所（R5.9）</li> <li>■ 被保険者数：456,140人（R5.9）</li> <li>■ 被扶養者数：283,336人（R5.9）</li> <li>・ 在留外国人数は全国13位（県人口17位の規模に対し高い、岐阜市・可児市に多い）</li> <li>■ 食習慣：野菜摂取量 男性278g・女性251gと低い 食塩摂取量 県民の7割が塩分とりすぎ 男性9.7g・女性8.6g 塩蔵品、味噌・漬物文化</li> <li>■ 運動習慣：運動習慣改善要素保有者の割合73.6%（R4）</li> <li>■ 喫煙状況：喫煙者の割合26.5%（R4）、地域差指数-0.045（R4）と全国より低い</li> <li>■ 飲酒状況：飲酒習慣改善要素保有者の割合12.8%、地域差指数0.053（R4）と全国より高値（特に男性）</li> <li>■ 睡眠・休息状況：睡眠で休養が取れていない者の割合39.8%、地域差指数0.068（R4）と全国より高値</li> <li>■ 特定健康診査実施率（被保険者・被扶養者）</li> <li>■ 健康宣言事業所数：1,276事業所</li> <li>・ 世帯当たり自家用乗用車保有台数1.55台（全国8位）</li> </ul> <p>資料：ぎふ県勢要覧、県民栄養調査</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 生活習慣病予防健診受診率：61.5%（R4）</li> <li>■ 事業者健診受診率：14.8%（R4）</li> <li>■ 特定健診受診率：28.9%（R4）</li> <li>■ 保健指導実施率：26.3%（R4）</li> <li>■ コラボヘルス宣言事業所数：1205件</li> <li>■ メタボリックリスク該当者割合：13.9%（R4）</li> <li>■ 腹囲リスク該当者割合：31.7%（R4）</li> <li>■ 血圧リスク該当者割合：47.6%（R4）</li> </ul> <p>（資料：情報系システム 支部基本情報 健診情報① 健診実施結果状況）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 入院外1人当たり医療費（調剤含む）：125,025円</li> <li>■ 入院1人当たり医療費：49,861円</li> </ul> <p>資料：情報系システム 支部基本情報 医療費情報②                  2-2疾病分類別1人当たり医療費の地域差指数-1の寄与度（入院外）：循環器系の疾患0.002（R2-R4）</p> <p>資料：情報系システム 支部基本情報 二次医療圏別・市区町村別地域差                  血圧リスク該当者割合：高い地域                  西濃地域（揖斐川・大垣市・安八等）                  東濃地域（瑞浪・恵那・中津川等）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 平均寿命（R2年度）岐阜県 男性81.9歳（全国11位）、女性87.51歳（全国28位）</li> <li>■ 死亡数（R4）26,175人（男性13,436人、女性12,739人）</li> <li>■ 死亡数の男女差（R4）697人</li> <li>■ 死亡率（R4）13.9（人口千対）</li> <li>■ 死因別死亡割合： ①悪性新生物26.1% ②心疾患14.5%（R3）</li> </ul>



対策を進めるべき重大な疾患  
 (10年以上経過後に達するゴール)

岐阜支部における循環器系の疾患の入院外受診率を全国平均以下にする

### 第3期保健事業実施計画（データヘルス計画）

21岐阜

6年後に達成する目標 (健康課題を踏まえた検査値等の改善目標)		被保険者・被扶養者の血圧リスク該当者割合2%減 [R4年度 47.6% → R11年度 45.6%] (情報系システム)				
年度	R 6	R 7	R 8 (中間評価)	R 9	R 10	R 11 (最終評価)
目標	47.4%	47.1%	46.7%	46.3%	45.9%	45.6%

- 上記目標における各年度の結果に対する評価、要因検証等を行い、今後の対策を整理する。  
 ※1) 自己評価欄は、下記を目安に判断し、A B C Dで評定すること  
 A：目標値の120%以上 B：目標値の100%以上120%未満 C：目標値の80%以上100%未満 D：目標値の80%未満  
 ※2) 記入欄が不足する場合は行を追加すること。なお、列の追加、幅の調整は行わないこと。

R 6	目標	47.4%	実績		自己評価	
	要因検証・今後の対策					
R 7	目標		実績		自己評価	
	要因検証・今後の対策					
R 8	目標		実績		自己評価	
	要因検証・今後の対策					
R 9	目標		実績		自己評価	
	要因検証・今後の対策					
R 10	目標		実績		自己評価	
	要因検証・今後の対策					
R 11	目標		実績		自己評価	
	要因検証・今後の対策					

- 次頁より、各分野のKPIに加え、地域・職域において重点的に予防・改善すべき疾患、当該疾患を予防・改善するために着目すべき健診項目、着目した健診項目の検査値に影響を及ぼしている生活習慣、当該生活習慣を改善するためにどのような対象者にどのようなハイリスクアプローチ及びポピュレーションアプローチを行うかを整理し、個々の取組、具体策及び目標値を計画に記載する。  
 ※3) 個々の取組における具体策は、実施年度の支部事業計画に記載すること。  
 ※4) 取組欄を追加する場合は、取組欄（行）をコピーして使用すること。また、記入欄が不足する場合は行を追加すること。なお、列の追加や幅の調整は行わないこと。  
 ※5) KPI達成に向けた取組や具体策は、本計画には記載せず、実施年度の支部事業計画に記載すること。
- また、各年度の終了後には、取組の目標における各年度の結果に対する評価、要因検証等を行い、今後の対策を整理する。

健診											
KPI①	生活習慣病予防健診実施率	目標値	各年度のKPI	R6	R7	R8	R9	R10	R11		
		実績		66.5%							
KPI②	事業者健診データ取得率	目標値	各年度のKPI	R6	R7	R8	R9	R10	R11		
		実績		15.8%							
KPI③	特定健診実施率（被扶養者）	目標値	各年度のKPI	R6	R7	R8	R9	R10	R11		
		実績		32.1%							
今 後 の 検 査 策	R6										
	R7										
	R8										
	R9										
	R10										
	R11										
地域・職域における疾患・検査値・生活習慣等を踏まえ、どのような対象者にどのようなアプローチを行うか											
No.	健 - 1	アプローチ方法	ポピュレーションアプローチ	実施年度(期間)	R6年度 ~ R8年度						
取組名称	健診実施率が低い西濃地域（二次医療圏）における健診実施率改善に向けた取組			評価指標	西濃地域における健診実施率 (情報システム 健診実施結果状況 西濃地域)						
				目標値	67.5%	R6	R7	R8	R9	R10	R11
				実績		66.5%	67.0%	67.5%			
取組の目的及び具体策	<p>西濃地域は特定健診実施率（加入者）が65.0%と低く（県内66.6% 2022年）、かつ血圧リスク該当者割合49.3%と高い（県内47.6% 2022年）。</p> <p>そのため、以下の取り組みを行う。</p> <p>① 実施率の低い事業所を特定し、個別に文書送付及び訪問勧奨を行う。</p> <p>② 健診機関が少ないエリアにおいて集団健診を広報するなど、エリア全体で実施拡大を図る。</p> <p>③ 健診機関と連携し、生活習慣病予防健診の実施勧奨（定期健診の場合は生活習慣病予防健診への切り替え）を行う。</p>										
今 後 の 検 査 策	R6										
	R7										
	R8										
	R9										
	R10										
	R11										

No.	健 ー 2	アプローチ 方法	ポピュレーションアプローチ	実施年度 (期間)	R6年度 ~ R8年度						
取組名称	血圧リスク該当者割合が高い西濃地域の被扶養者に対する特定健診受診勧奨			評価指標	西濃地域における特定健診受診率 (情報系システム 健診実施結果状況 被扶養者 31.1% 2022年)						
				目標値	35.0%	R6	R7	R8	R9	R10	R11
				実績							
取組の目的 及び具体策	<p>被扶養者の特定健診受診率が低く(28.2% 2022年/25.8% 2021年)かつ、血圧リスク該当者割合が高い(43.6% 2022年/47.7% 2021年)西濃地域において、以下の取り組みを行い実施拡大を図る。(県内平均 被扶養者特定健診受診率29.6%、血圧リスク該当者41.1% 2022年)</p> <p>① 市町村と連携し、特定健診と同時にかん検診を実施する。 ② 健診機関と連携した集団健診を実施する(有料オプションの付加)。</p>										
今後 の 検 査 策	R6										
	R7										
	R8										
	R9										
	R10										
	R11										

特定保健指導											
KPI①	特定保健指導実施率（被保険者）	目標値	各年度のKPI	R6	R7	R8	R9	R10	R11		
		実績		32.9%							
KPI②	特定保健指導実施率（被扶養者）	目標値	各年度のKPI	R6	R7	R8	R9	R10	R11		
		実績		35.9%							
今後因の検 対証策・	R6										
	R7										
	R8										
	R9										
	R10										
	R11										
地域・職域における疾患・検査値・生活習慣等を踏まえ、どのような対象者にどのようなアプローチを行うか											
No.	指 ー 1	アプローチ方法	両方	実施年度(期間)	R6年度 ～ R11年度						
取組名称	道路貨物運送業における特定保健指導の推進			評価指標	道路貨物運送業における特定保健指導の実施率 (保健事業システム、道路貨物運送業 被保険者特定保健指導実施者数(評価)/被保険者特定保健指導対象者6.0% 2022年)						
				目標値	15.0%	R6	R7	R8	R9	R10	R11
				実績		6.5%	7.0%	7.5%	10.0%	12.0%	15.0%
取組の目的及び具体策	<p>「道路貨物運送業」の特徴として、収縮期血圧/拡張期血圧・喫煙者・特定保健指導対象者の割合が高い（2022年度特定健診データの業態別特徴の要約）、喫煙習慣あり・運動習慣なし者・就寝2時間前内夕食あり者/朝食を抜く習慣あり者・睡眠で休養十分ではない者の割合が高い（2022年度質問票データの業態別特徴の要約）ため、以下の取り組みを行い推進を図る。</p> <p>①特定保健指導の推進に向けて、R6年度より関係団体（中部運輸局、トラック協会等）との連携  ②幹部職員による関係団体・大規模事業所への訪問勧奨  ③健診機関に対し、健診当日に初回面談が実施できる体制（巡回健診車での人員・場所等）確保の働きかけ  ④道路貨物運送業の事業所に対し、健診当日の初回面談（分割）実施の推進</p>										
今後因の検 対証策・	R6										
	R7										
	R8										
	R9										
	R10										
	R11										

No.	指 ー 2	アプローチ方法	ハイリスクアプローチ	実施年度(期間)	R6年度 ～ R11年度						
取組名称	東濃地域の血圧リスク該当者割合に着目した特定保健指導の実施			評価指標	東濃地域の血圧リスク該当者割合 (情報系システム 健診実施結果状況)						
				目標値	岐阜支部平均 47.6%	R6 49.9%	R7 49.5%	R8 49.0%	R9 48.5%	R10 48.0%	R11 47.6%
				実績							
取組の目的及び具体策	<p>当支部は血圧リスク該当者割合が全国平均より高い。岐阜支部全体の血圧リスク該当者割合は（47.6%）であるが、その中で特に東濃地域（50.2%）が高い状況にある。また、食習慣として食塩摂取量が多い、運動習慣改善要素保有者の割合が高い、睡眠で休息が取れていない者の割合が高いなど血圧リスクに結びつく生活習慣がある。そのため、以下の取り組みを行い実施拡大を図る。</p> <p>①東濃地域における特定保健指導の委託健診機関の実施率拡大の推進 ②委託健診機関に対して研修会等を実施し、認識の共有・血圧リスク者へ効果的な保健指導ができるように支援を行う。</p>										
今後の検 対証 策・	R6										
	R7										
	R8										
	R9										
	R10										
	R11										

重症化予防												
KPI①	未治療者への受診勧奨による医療機関受診率				目標値	各年度のKPI	R6	R7	R8	R9	R10	R11
							11.0%					
今後因の検 対証策・	R6											
	R7											
	R8											
	R9											
	R10											
	R11											
地域・職域における疾患・検査値・生活習慣等を踏まえ、どのような対象者にどのようなアプローチを行うか												
No.	重	1	アプローチ 方法	ハイリスクアプローチ	実施年度 (期間)	R6年度 ~ R8年度						
取組名称	二次勧奨対象者の割合をR5年度末時より減らす				評価指標	二次勧奨対象者の割合 (保健事業システム 未治療者受診勧奨二次該当者割合 20.3%)						
					目標値	16.0%	R6 19.0%	R7 17.5%	R8 16.0%	R9 -	R10	R11
					実績							
取組の目的 及び具体策	<p>岐阜支部は血圧リスク保有率が高い。循環器疾患の予防としては、動脈硬化予防が重要であることから、血圧のみならず複数リスクが要因となる。そのため、二次勧奨対象者に重点を当てた取り組みを行う。(評価指標：年度の二次勧奨対象者/一次勧奨対象者)</p> <p>※二次勧奨対象者とは、&lt;基準該当①次の項目のうち、1つ以上該当するもの&gt; 血圧180/110mmHg 以上、血糖空腹時血糖160mg/dl以上、HbA1c8.4%以上 &lt;基準該当②次の項目のうち、2つ以上該当するもの&gt; 血圧160/100mmHg 以上、空腹時血糖126mg/dl以上、HbA1c6.5%以上、脂質LDLコレステロール180mg/dl以上</p> <p>①対象者の受診行動を後押しする訴求力のある勧奨文書（岐阜県と共同で作成）と医療機関の一覧を送付し、受診勧奨を行う</p> <p>②対象者が健康診断を受診した健診機関から電話で受診勧奨を行う。</p> <p>③協力いただけない健診機関分については、協会けんぽ等保健師から電話で受診勧奨を行う</p>											
今後因の検 対証策・	R6											
	R7											
	R8											
	R9											
	R10											
	R11											

コラボヘルス												
KPI①	宣言事業所数 (新規健康宣言事業所を年度で300件増やす/2023年12月時点 約1280件)				目標値	各年度の KPI	R6	R7	R8	R9	R10	R11
							1,570件					
今後 の 検 証 策	R6											
	R7											
	R8											
	R9											
	R10											
	R11											
地域・職域における疾患・検査値・生活習慣等を踏まえ、どのような対象者にどのようなアプローチを行うか												
No.	コ	ー	1	アプローチ 方法	ポピュレーションアプローチ	実施年度 (期間)	R6年度 ~ R11年度					
取組名称	「運動習慣の定着」または「メンタルヘルス対策」に取組む宣言事業所の拡大				評価指標	「運動習慣の定着」または「メンタルヘルス対策」を選択した新規宣言事業所数						
					目標値	900件	R6 150件	R7 300件	R8 450件	R9 600件	R10 750件	R11 900件
					実績							
取組の目的 及び具体策	<p>「運動習慣の定着」「メンタルヘルス対策」の取り組み項目の中から、いずれかを選択する新規健康宣言事業所を年度で150件ずつ増加を目指す。</p> <p>①当支部は令和4年度の運動習慣要改善者割合が全国で男性44位、女性35位。また睡眠で休養が取れていない者の割合が全国で男性43位、女性36位。睡眠不足はメンタルヘルス不調が契機となっている可能性がある。運動習慣改善及びメンタルヘルス対策に向けた取組を県内に広く普及するため、広報誌やメルマガ及びホームページ等を活用し情報提供を行う。</p> <p>②基本モデルの取込みは完了しており、より実効性のある取り組みとすべく県及び産業保健総合支援センターと連携し運動習慣改善及びメンタルヘルス対策に向けた取組を実践する。</p>											
今後 の 検 証 策	R6											
	R7											
	R8											
	R9											
	R10											
	R11											